

令和7年度

事業報告書

－ 在宅医療・介護連携推進事業 －

－ 在宅医療に関する市民向け相談窓口業務 －

一般社団法人徳島市医師会

徳島市在宅医療支援センター

【在宅医療・介護連携推進事業】

ア 現状分析・課題抽出・施策立案（計画）

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

①徳島市内の医療・介護資源の整理

【取組み内容】

令和7年度現在の徳島市内に現存する医療・介護資源を把握して整理するとともに、月毎の増減推移を調べ、今後の取組みへ反映させる。

【成果や課題等】

医療機関や介護施設・事業所の現存数について月毎に情報を収集して整理した。令和7度は当該情報について、新規に追加する事業所や情報等を更新した。

②地域資源情報一覧の運用及び情報更新

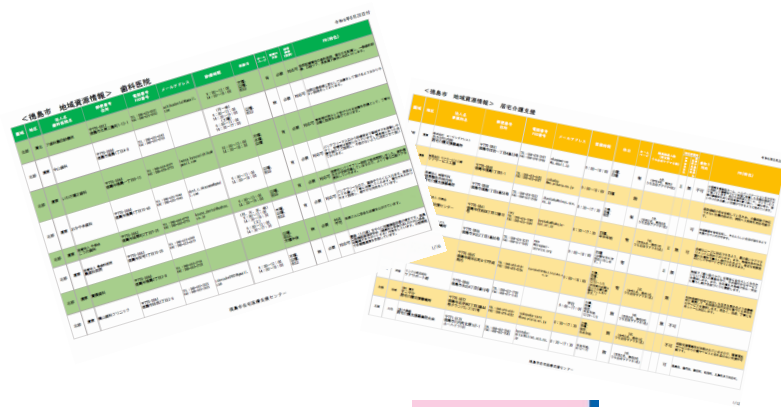
【取組み内容】

歯科や薬局、訪問介護等の医療・介護事業所の情報を一覧表にし、ホームページへの掲載や紙媒体による配布を通じて、医療・介護従事者及び地域住民へ正確な情報を提供する。

【成果や課題等】

医療機関をはじめ、歯科診療所、薬局、訪問介護事業所等、13種類の医療介護サービスの情報一覧をセンターの窓口やホームページで情報を提供した。

【地域資源情報一覧掲載数】	
歯科医院	122か所
薬局	143か所
居宅介護支援事業所	103か所
訪問看護ステーション	50か所
訪問介護事業所	112か所
通所介護	68か所
地域密着型通所介護	27か所
認知症対応型通所介護	6か所
短期入所生活介護	29か所
短期入所療養介護	24か所
通所リハビリテーション	43か所
小規模多機能型居宅介護	10か所
看護小規模多機能型居宅介護	2か所



【医療機関ガイドマップ掲載数】	
診療所	213か所
病院	44か所

（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

①多職種連携会議の開催

【取組み内容】

在宅医療に関わる多職種（医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護師・ケアマネジャー等13職種）が一堂に会し、在宅医療を整備する上での課題とその解決策、地域へ還元した取組みの評価等について協議する場として開催する。



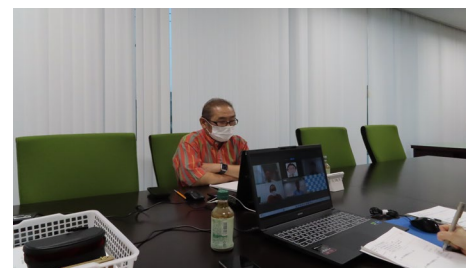
【成果や課題等】

制作中の災害時啓発冊子について各団体で意見交換を行い、個別避難計画の現状や各職種の役割、在宅療養者支援の視点を共有した。冊子は、共通項目・各団体の強調事項・行政情報・Q&Aの構成とし、イラストやQRコードも活用しながら作成を進めることとなった。

②三師会在宅連携委員会の開催

【取組み内容】

三師会が取組む在宅医療整備の情報を共有し、各会員ならびに多職種
の在宅医療に関する資質の向上と標準化を目的として開催する。



【成果や課題等】

令和7年度の各団体における事業計画について情報を共有するとともに、第12回多職種のための在宅医療研
修会の企画について協議した。市薬剤師会の推薦によって「入退院・外来・在宅における医療介護職と薬剤
師の連携ポイント」をテーマに、武庫川女子大学薬学部教授の川添哲嗣先生に講演を依頼することを決定す
る。

③在宅医療に関する各種アンケート調査の実施

【取組み内容】

各専門職や実際に在宅医療と介護を受けている患者及び家族に対してアンケート調査を実施し、医療と介護
に関する率直な意見を把握することで、今後の取組みに反映させる。

【成果や課題等】

令和7年8月に専門職に対するアンケート調査を実施。回答者281名のうち80%の人が在宅医療に携ってお
り、多職種間での情報共有や連絡手段への課題に対する意見が多かった。

令和8年1月に患者、家族に対するアンケート調査を実施した。回答者23名の中で、ケアマネジャーのきめ細
かな対応を評価する意見が目立ったが、関係者間での分かりやすい情報共有の方法や、今後の方針について
一緒に考えてほしいという要望なども見られた。

（ウ）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①徳島あんしんタグの開催

【取組み内容】

徳島市オリジナルの地域包括ケアシステムの構築を目指し、徳島市医
師会と行政がタグを組んで在宅医療の整備に取り組むための意見交
換の場として定期的で開催する。



【成果や課題等】

令和6年度事業実績及び令和7年度事業計画案等について報告。在宅医療
漫画を活用した普及啓発について、動画QRを掲載したメモ帳の準備を進
めていることを報告する。

②在宅療養支援診療所24時間ネットワークの運用と

連携訪問看護ステーションとの連携

【取組み内容】

在宅医療をシームレスに提供できる体制を継続するため、在宅医師
同士が副主治医となるネットワークを運用し、医師の負担軽減を図
るとともに、訪問看護ステーションとの連携により24時間対応可能
な体制を整備する。また、登録医師と訪問看護ステーションの円滑
な運用推進を目的に連携会議を開催する。



【成果や課題等】

ネットワーク医師と訪問看護師が互いに顔の見える関係を築き、ネットワークに関する率直な意見交換を実
施。ネットワーク医師と訪問看護師のみで使用していた連携訪問看護ステーションの一覧表を連絡調整の中
心を担うケアマネジャーに活用してもらうため、居宅介護支援事業所や病院の患者支援センターへ配布す
ることとした。

③24mini(カンファレンス)の運用

【取組み内容】

在宅療養支援診療所24時間ネットワークの機能強化を目的に小グループ化（3名の医師が参加）でモデル運用し、メーリングリストを通じて情報共有を図る。

【成果や課題等】

令和7年度は3名の医師でネットワークを構成し、週交代で副主治医制を実施する。

④在宅医療ネットワーク(TIZI-NET)の運用と後方支援病院ネットワーク(BBN)との連携

【取組み内容】

在宅医療を希望しつつも在宅主治医が見つからない方に在宅主治医を紹介する在宅医療ネットワーク(TIZI-NET)を運用。また、TIZI-NET登録医から在宅療養が困難となった、患者の入院要請を円滑に行える後方支援病院ネットワーク(BBN)と連携を図り、より良い在宅医療体制の運用を目的として連携会議を開催する。



【成果や課題等】

令和6年度のネットワーク稼働実績、経過について報告。発足当初と比べ、ここ数年ネットワークを介さずとも円滑な連携体制ができていることについて、関係者間で認識を共有。

あわせて、在宅医療終了理由やBBN利用状況、バックベッド連携の増加、病床稼働率や夕方以降の受入れの難しさ、嚥下困難例の在宅移行などについて意見交換を行った。

⑤スクエア会議の開催

【取組み内容】

がん診療連携拠点病院と在宅医療に携わる医師（徳島市医師会在宅医療連携委員）が、意見交換を行うことで双方の顔の見える関係づくりと、行政にも参加いただくことで官民一体となった診療連携を構築し、患者やその家族が安心して在宅療養が行える体制整備を行う。



【成果や課題等】

各病院から令和6年度の実績報告。TIZI-NETの登録状況や在宅医療の終了理由、後方支援病院との連携の必要性が共有されたほか、各病院からがん相談支援、入退院支援、緩和ケア、ACPの取組み状況についての報告と意見交換を行った。

⑥在宅医療周辺サポートネットワークの運用

【取組み内容】

在宅医師等からの他科往診依頼に対応すべく、往診可能な専門医でネットワークを構築し、総合的に在宅医療が提供できる体制を構築する。

【成果や課題等】

令和7年度の周辺サポートネットワーク実績は、皮膚科への紹介が2件、耳鼻咽喉科への紹介が1件、合計3件であった。

⑦四国四市在宅医療・介護支援センター職員web会議

【取組み内容】

四国四市の在宅医療・介護支援センターの職員同士が、実務者レベルでの顔の見える関係を深め、情報交換や相談を行うことで、今後の事業展開への企画立案や問題解決につなげることを目的に開催する。

【成果や課題等】

定期的にメーリングリストで取組み状況等について情報交換。また、11月に厚生労働省が主催する人生会議(ACP)普及啓発イベントに出展した際、高松市医師会と高知市在宅医療介護支援センターの職員同士で情報交換を行った。

⑧ニコイチ会議の開催（地域包括支援センターと在宅医療支援センターの連携会議）

【取組み内容】

徳島市地域包括支援センターと徳島市在宅医療支援センターが協働し、医療と介護を一体的に提供できる体制構築を目的に開催する。

【成果や課題等】

徳島市医師会の各部門責任者と事業の進捗等について情報を交換するとともに、適宜ミーティングを実施する。

⑨在宅医療連携委員会の開催

【取組み内容】

在宅医療・介護連携推進事業等において、特に医師に関わる取り組みについて意見交換、情報共有を図るため開催する。

【成果や課題等】

令和6年度の事業実績、令和7年度の事業計画案について報告。令和7年度では、災害版冊子の製作およびWebページの情報整理を行い、各職能団体と連携して二次元コードから詳細情報にアクセスできる仕組みを整備することとした。



イ 対応策の実施

（ア）在宅医療・介護連携に関する相談支援

①医療介護従事者からの相談窓口

【取組み内容】

地域の医療・介護関係者から、在宅医療・介護連携に関する相談等を受け、連携調整や情報提供を通じて、多職種間の円滑な連携を支援する。

【成果や課題等】

令和7年度は、診療所医師や訪問看護師等から延べ265件の相談があり、件数は昨年度より減少した。相談者は訪問看護師が最も多く、相談内容は医療機関の情報提供やバイタルリンクに関するものが中心であった。

（イ）地域住民への普及啓発

①在宅医療市民公開講座の開催

【取組み内容】

患者や家族・地域住民等が、在宅での療養が必要になったときに必要なサービスを適切に選択していただけるよう、在宅医療や介護への理解を深める機会として開催する。

【成果や課題等】

在宅医療をテーマとした映画「ピア～まちをつなぐもの～」の上映とトークセッションを徳島グランヴィリオホテルで開催する。来場者は248名であった。



②インターネットでの在宅療養支援診療所及び在宅医療整備の取組み紹介

【取組み内容】

年1回在宅療養支援診療所の医療機能・機関情報を更新し、「徳島市医師会在宅医療整備への取組み」ホームページで情報を公開する。また、在宅医療・介護連携推進事業の取組みをタイムリーにホームページに掲載し、地域住民等への情報提供、普及啓発を図る。

【成果や課題等】

在宅医療に関する医療機関情報、在宅医療・介護連携推進事業の取組み報告等を、ホームページに掲載し情報提供を行った。



③「在宅医療・介護を必要とする方への災害時の啓発」

【取組み内容】

「在宅医療・介護を必要とする方の災害時の備え」をテーマとした冊子を作成し、広く地域住民へ啓発を行う。

【成果や課題等】

徳島市と多職種連携会議参加団体に依頼し、在宅医療に関する災害対応冊子の掲載ページを作成。各内容をとりまとめ、多職種連携会議で協議の上、令和8年度に発行することとした。

④YouTubeを活用した在宅医療に関する動画の配信

【取組み内容】

インターネットからいつでも在宅医療についての動画が視聴できるように、YouTube上で専門職への情報提供や市民への普及啓発に繋げる。

【成果や課題等】

地域住民向けの市民公開講座や専門職向けの各種セミナーの様態を動画にまとめ公開し、令和6年度に作成した在宅医療漫画をショート動画でも配信した。



⑤在宅医療啓発漫画を活用した普及啓発

【取組み内容】

絵で見て理解できる在宅医療を題材とした「漫画」をデジタル版と冊子版で地域住民に提供する。幅広い世代の市民に在宅医療を知っていただくツールとして、普及啓発を図る。

【成果や課題等】

メモ帳を製作し、市民公開講座やイベントなど、様々な関係者に配布した。また、厚生労働省主催のイベントで在宅医療を漫画で普及啓発していることをポスターで展示した。



⑥「在宅医療」に関する出前講座の開催

【取組み内容】

地域住民が在宅医療・介護を知り、選択肢の一つとしていただくため出前講座を開催する。

【成果や課題等】

小松島市で開催されている「小松島やろうの会」定例会で、徳島市の地域包括ケアシステムや在宅医療・介護連携推進事業についての出前講座を実施。小松島市に在住する男性介護者を中心に12名の方が参加した。

⑦「人生会議」はじめてみませんか？ in香川に出展

【取組み内容】

香川県高松市において、厚生労働省が人生会議の現状や課題、重要性を広く考える機会として実施する人生会議普及啓発イベントに出展する。

【成果や課題等】

香川県高松市において、厚生労働省が主催するACP啓発イベントがあり、在宅医療漫画とボイスコミック等の展示を行った。一般の住民や専門職など約500人の参加があった。

(ウ) 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための

研修などの地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援

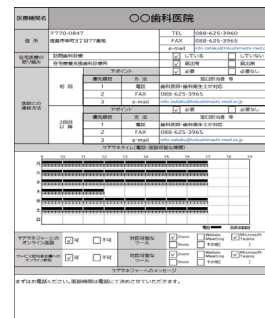
① ケアマネタイムの運用

【取組み内容】

ケアマネジャーと医療従事者との連携促進を目的に、診療所・病院・歯科診療所・薬局・訪問看護ステーションごとに相談可能な時間帯や方法を集約した上で、ホームページ上に掲載し、ケアマネジャー等へ提供する。

【成果や課題等】

ケアマネジャーと医療従事者の連携促進のため、医療機関、歯科診療所、薬局、訪問看護の情報一覧をセンターのホームページで情報を提供。令和7年度の更新で新規に34か所の施設・事業所等を追加した。



施設名	住所	診療時間	備考
〇〇歯科医院	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	9:00-18:00	歯科
〇〇内科	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	9:00-18:00	内科
〇〇薬局	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	9:00-18:00	薬局

② 多職種連携情報共有システム「バイタルリンク」の運用

【取組み内容】

患者情報をタイムリーに共有するため、H28年度より徳島県医師会が導入した「バイタルリンク」を活用し、多職種連携における情報共有ツールの一つとして運用する。

【成果や課題等】

令和7年度は専門職66名、患者60名の新規登録があった。今年度は、病院や施設を運営する医療機関でバイタルリンクが導入されたため、昨年度を大きく上回る利用申込みがあった。

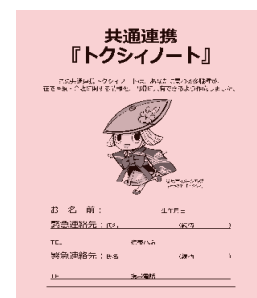
③ 共通連携「トクシノート」の運用

【取組み内容】

平成27年度在宅医療整備ワーキンググループで作成した共通連携ノートをケアマネジャーや訪問看護師を通じて患者へ配布し、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が行えるツールの一つとして運用する。

【成果や課題等】

ACPの冊子「もしもの時のために」とトクシノートを組み合わせて配布した。



④ 徳島県退院支援の手引きの普及及び徳島保健所との連携した

入退院支援への取組み

【取組み内容】

徳島保健所が中心となって運用中の入退院支援の手引きを様々な場面で広報するとともに、徳島市においてより良い入退院支援の体制が構築できるよう徳島保健所と連携、協力する。

【成果や課題等】

令和7年度の在宅医療・介護コーディネーター事業、糖尿病対策事業、循環器病対策事業合同研修会で徳島保健所から連絡実施率は要介護が過去最高の88.4%、要支援67.6%となり、連携がスムーズになったとの意見も多く、退院支援は定着しつつあると考えられる。一方で調整時間の短さやコミュニケーション不足も課題であり、今後も医療と介護の円滑な連携体制の強化が必要と報告があった。

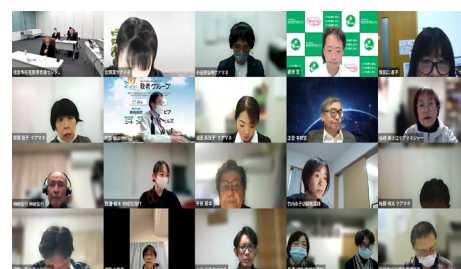
⑤ キーパーソン3の開催

【取組み内容】

キーパーソン3（医師・訪問看護師・ケアマネジャー）の連携がより密となるよう、症例検討を通してお互いの距離感を掴み、患者を中心に一体となった在宅医療の提供ができることを目的に開催する。

【成果や課題等】

「在宅における脳梗塞後遺症のリハビリテーションについて」をテーマとして開催。医師、訪問看護師、ケアマネジャー、地域包括支援センター職員の計36名が参加。「在宅医療移行における退院支援と多職種の課題～脳梗塞発症後のリハビリテーション導入～」について議論した。



⑥三師会企画多職種のための在宅医療研修会の開催

【取組み内容】

三師会員（医師会・歯科医師会・薬剤師会）及び在宅医療に関わる専門職の在宅医療に対する資質の向上と標準化を目的に開催する。

【成果や課題等】

「入退院・外来・在宅における医療介護職と薬剤師の連携ポイント」をテーマとして、武庫川女子大学薬学部教授の川添哲嗣先生が講演される。医師、歯科医師、薬剤師など67名が参加した。



⑦各種研修会・講演会への参加、来館対応

【取組み内容】

在宅医療に関連する研修会・講演会に参加し、知識の習得や取り組みへのヒントを得る。また、来館対応を通じて、関係者と意見交換・情報共有を図り、今後の取組みへの参考とする。

【成果や課題等】

県内外の在宅医療・介護コーディネーター事業に関する研修会に職員が参加した。第64回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会において「在宅医療がなぜ必要なのか」をテーマにし、幅広い世代に啓発するための工夫などについて事例発表を行った。

【在宅医療に関する市民向け相談窓口業務】

①地域住民からの在宅医療に関する相談窓口

【取組み内容】

在宅医療に関する市民向け相談窓口を設置し、在宅医療の利用方法等に関する相談から医療機関や地域資源の情報提供、また、必要に応じて適切な機関へ繋ぐ等のワンストップ窓口機能として関係機関と密に連携を図りながら対応する。



【成果や課題等】

地域住民からの在宅医療に関する一般相談に応じるとともに、必要に応じて適切な機関に繋ぐ等、在宅医療に関するワンストップ窓口機能の役割を担う。